

## 自治体と共催で行う意見交換会

2014年度は、全国で14回、地方自治体と共催で意見交換会を行いました。



▲福井県で行われた意見交換会の会場風景。

今年度地方自治体と行った意見交換会は、地域の指導者またはオピニオンリーダーを対象としたもの、消費者団体とも共催したもの(表参照)で、少人数で、かつ双方向で意見交換できるような形で行いました。

このうち、2015年1月23日に福井県で開催した意見交換会では、テーマの『食品添加物』について、健康への影響や行政による検査結果など、さまざまな意見の交換や活発な質疑応答が行われました。

表 2014年度 自治体等と共催した意見交換会開催実績

形態	開催日	共催自治体/団体	主なテーマ
地域の指導者を対象とした意見交換会	2014年 7月25日(金)	堺市	食中毒
	2014年 8月18日(月)	兵庫県	食中毒
	2014年 8月22日(金)	豊橋市	食中毒
	2014年 9月 4日(木)	群馬県	残留農薬
	2014年 10月24日(金)	埼玉県	ノロウイルス
	2014年 10月29日(水)	高知市	残留農薬
	2014年 11月19日(水)	いわき市	ノロウイルス
消費者団体共催型意見交換会	2014年 7月30日(水)	鹿児島県/NPO法人鹿児島県地域女性団体連絡協議会	食品添加物
	2014年 9月10日(水)	和歌山県/和歌山県くらしの研究会	食中毒
	2015年 1月23日(金)	福井県/公益社団法人ふくい・くらしの研究所	食品添加物
	2015年 1月30日(金)	熊本県/熊本県消費者団体連絡協議会	遺伝子組換え食品
オピニオンリーダーとの意見交換会	2014年 10月10日(金)	熊本県	食品添加物
	2014年 11月21日(金)	松山市	食中毒

## 報道関係者との意見交換会

2014年度は、報道関係者の方々との意見交換会を6回行いました。

多くの消費者は、新聞やテレビなどの報道を通じて、食品安全に関する情報を入手します。このため、食品安全委員会では、そうした報道に関わる方々を対象に、食品の安全性に関する理解を深め、より正確な情報発信につなげてもらうため、意見交換会(表参照)を開催しています。

このうち、2014年11月5日に行った意見交換会では、村田容常委員が『メイラード反応とアクリルアミド』について解説し、農林水産省からもアクリルアミドの低減対策が説明されました。

また、2015年1月14日には佐藤洋委員が『酒と健康』をテーマに説明

し、「アルコールは害とメリットどちらが大きいのか」、「健康へのリスクが一番低い酒は何か」といった活発な質疑応答が行われました。



▲「酒と健康」をテーマに佐藤洋委員が解説。

表 2014年度 報道関係者との意見交換会開催実績

開催日	テーマ
2014年 5月14日(水)	脂肪の摂取と食品健康影響評価 ～トランス脂肪酸の食品健康影響評価を題材にして～
2014年 7月 2日(水)	食べ物の基礎知識 食品の安全と消費者の信頼をつなぐもの
2014年 9月10日(水)	動物の健康はヒトの健康 ～耐性菌って何?～
2014年 11月 5日(水)	メイラード反応とアクリルアミド 誰もが食べている化学物質 ～食品の加工貯蔵中の化学変化と安全性～
2015年 1月14日(水)	酒と健康
2015年 3月 4日(水)	肉の生食のリスクについて(豚肉を中心として)